

Before



自然を残して、 身近な川に。

河川整備にあたっては、片側拡幅により良好な河畔林や河岸の自然環境を残しました。また、袋詰め玉石を活用した水制等で、瀬や淵が自然に再生されるよう工夫しました。ゆるやかな勾配の護岸は、親水を容易なものにしています。今では散策などにも利用されており、小学校児童の環境学習の場としても活用が期待されています。



N35度28分40秒 E137度4分54秒
(35.478, 137.082)



After

木曽川水系飯田川

Kisogawasuikei IIDAGAWA